

## *Bacillaria paradoxa* (イカダケイソウ) のアクチン依存的滑走運動機構

山岡 望海<sup>1</sup>, 末友 靖隆<sup>2</sup>, 新免 輝男<sup>1</sup>, 園部 誠司<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>兵庫県大・院生命理, <sup>2</sup>岩国市立マイクロ生物館)

**【要旨】** *B. paradoxa* は細胞群体を形成し、隣接した細胞同士が滑走運動を行うが、その機構及び生態的意義は分かっていない。本研究では *B. paradoxa* の滑走運動の仕組みを解明するため、採取してきた *B. paradoxa* を培養し、殻の構造、アクチン繊維の分布と機能を調べた。電子顕微鏡観察により被殻の詳細な構造が得られた。被殻内部において被殻一部が縦溝に沿って垂直に交わるアーチ状の構造が形成しているのが観察された。このアーチ状の構造は細胞質を貫通していた。また縦溝に近い細胞質内に特徴的な構造があり、滑走運動に関わる構造と見て、さらなる解析を進めている。